

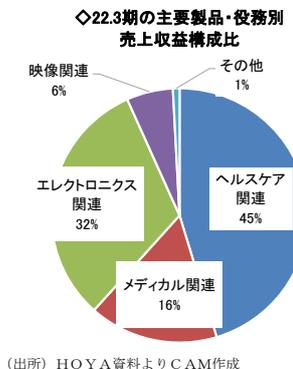
企業ニュース HOYA

(東証プライム : 7741) <https://www.hoya.com>

作成者: 村上大志

ライフケアと情報・通信事業が柱の精密機器大手

ライフケアと情報・通信事業が柱の精密機器大手。ライフケアではヘルスケア関連でメガネやコンタクトレンズを、メディカル関連で眼科医療機器などを手掛ける。情報・通信ではエレクトロニクス関連で半導体製造用マスクブランクスやHDD用ガラス基板を、映像関連で光学レンズなどを手掛ける。ビジネスモデルや景気感応度などが異なる複数の事業を展開することでリスクを分散させ、グループ全体の収益性・安定性・成長性を確保していくポートフォリオ経営を行っている。2022年3月、20年以上にわたり当社を率いてきた鈴木洋氏がCEO（最高経営責任者）を退任。後任にはCTO（最高技術責任者）の池田英一郎氏が就任した。新体制の下、半導体や医療機器関連に経営資源を投入し、長期的な成長を目指す。



全セグメントで増収増益を達成、半導体製造用マスクブランクスが好調

22.3期の連結業績は売上収益が6,615億円、前期比21%増、税引前利益が2,107億円、同32%増、税引前利益率は31.9%、同2.8ポイント改善した。売上収益、税引前利益ともに過去最高。ライフケアの売上収益は同19%増、税引前利益は同36%増。経済活動の再開に伴ったメガネ・コンタクトレンズの回復が業績に寄与した。情報・通信の売上収益は同24%増、税引前利益が同29%増。半導体製造用マスクブランクスが引き続き好調で業績をけん引、FPD（フラットパネルディスプレイ）用フォトマスクは研究開発向けで需要が回復した。

23.3期の会社計画は未公表で、第1四半期決算発表時に上期予想を、第3四半期決算発表時に通期予想を公表予定。ライフケアでは、メガネ・コンタクトレンズの需要が底堅く推移しており、欧州やアジアは引き続き堅調、国内も行動制限解除により回復が期待される。利益をけん引している情報・通信では、半導体製造用マスクブランクスが旺盛で、シンガポールで生産能力の拡大を図る模様。HDD用ガラス基板は在庫調整の兆しがあるものの、データセンター向けの需要は堅調に推移しており、中長期的には成長ドライバーとなることが期待される。

[株価動向・投資判断]

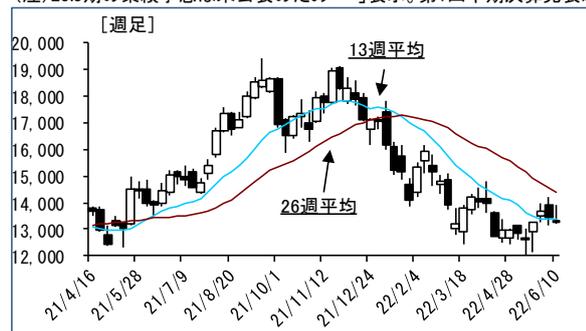
新たに600億円の自社株買いを発表、増配方針も示した。キャッシュ創出力は高く今後も株主還元が期待できよう。

<7741 HOYA 業績:IFRS>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

| | 売上収益 | 営業利益 | 税引前利益 | 当期利益 | 1株利益 | 1株配当 |
|--------|--------------|-----------|--------------|--------------|-------|--------|
| | 百万円 (伸び率) | 百万円 (伸び率) | 百万円 (伸び率) | 百万円 (伸び率) | 円 | 円 |
| 21.3 | 547,921 (▲5) | - (-) | 159,218 (8) | 125,446 (10) | 335.8 | 90.00 |
| 22.3 | 661,466 (21) | - (-) | 210,706 (32) | 164,507 (31) | 446.5 | 110.00 |
| 23.3 予 | - (-) | - (-) | - (-) | - (-) | - | 未定 |

(注)23.3期の業績予想は未公表のため「-」表示。第1四半期決算発表時に上期予想を、第3四半期決算発表時に通期予想を公表予定



| [主要株価指標] (売買単位: 100株) | |
|-----------------------|--------------------|
| 株価 (2022/6/10) | 13,285 円 |
| 年初来高値 (高値日) | 17,800 円 (22/1/4) |
| 同 安値 (安値日) | 12,020 円 (22/5/12) |
| 予想 P E R (23.3 予) | - 倍 |
| 1株株主資本 (PBR算出用) | 2,212.6 円 |
| P B R | 6.00 倍 |
| 予想配当利回り (1株当たり配当金 未定) | - % |
| R O E (22.3) | 22.1 % |
| 発行済み株式数 | 36,578 万株 |